

令和2年1月 モニターレポート		担当出張所	桂川出張所
担当区間	桂川中流両岸 羽束師橋～府道142号桂大橋（左右岸5.4～12.2km）		
モニター実施日時	令和2年1月11日（土） 9時40分～11時50分		
天候	晴れ		

（見出し）

令和2年、最初のモニターは、祥久橋から桂川左岸、天神川左岸、堤外人道橋を渡り、再び桂川左岸を桂大橋までを、上流に向かって歩きました。河川の様子、河川敷の様子、ゴミの不法投棄の状況、河川利用者の様子などについて報告します。

（内容）

前日、雨のため、高水敷と左岸堤防とを交互に歩きました。

祥久橋の中央から川を見下ろすと、野鳥のカワウや鷺、カモ等が群れをなしており、小魚などを狙っているのでしょうか。又、橋の下には、ゴミが散見されました。



堤防では、陸上部の練習風景が見られ、サイクリングや散歩されている人が多く、冬の合間の、晴れ間を楽しんでおられました。駐車禁止の看板がありました。勝手に駐車する人がいるのでしょうか。又、耕作組合と河川事務所の共同看板が、倒れたままの状態でした。



久世橋までは、ずっと耕作地が続き、桂川の清流も良く見えました。途中、野犬注意の看板があり、餌やり禁止の文字も書かれていました。野犬に対しての餌やり禁止の表示は、モニター中で、初めて見たように思います。久世橋の下には、ホームレスの方がおられましたし、ゴミも多数ありました。



久世橋を超えると、河川敷は、綺麗に草刈りがされ、ベンチで日向ぼっこをされている方達がおられました、川側にある白いフェンスが、30m位内側に傾いて、倒れ掛かっていました。ここから上流に向かっても綺麗に草が刈られ、テニスコートの周りも、スッキリした印象でした。でもやはり残念な事に、上流から流れて来たのか川面にはゴミがいっぱいありました。



堤防には、公園（久世橋東詰公園）とトイレ、ベンチが設置され、一休みする人もおられ、サイクリングや散歩、ジョギングされる人の憩いの場所になっていました。広域避難場所の案内図には、日本語、英語、韓国語、中国語と4ヶ国語の表示がされていました。



前回、雑草に覆われていた、天神川と桂川との間の背割りも、先端までサッパリとして、綺麗な風景を醸し出しており、カワウやカモ達が群れていました。



天神川左岸を上流に向かって、サイクリングロードを歩きましたが、土曜日という事もあってか、自転車も多く、スピードも速く、ちょっと危ない様にも感じました。途中、新幹線高架下とJRの下を通りましたが、JRの橋脚の一番下は、レンガ造りなのでしょうか、不思議な感覚を持ちました。ようやく天神川を離れ、堤外人道橋を渡り、桂川の堤外児童公園に着きました。



前回、養生中の桜の木は、倒れたままでしたが、雑草は綺麗に刈られ、背割りも綺麗になっていました。又、雑草で覆われていた公園も綺麗になり、ブランコや滑り台も使用可能な状態でした。



ここから、桂大橋までも、高水敷、川表、堤防も綺麗な状態で、川も良く見え、野鳥や釣り人も散見され、散策されている方々も多く見受けられました。又、今回の目的地の桂大橋には、第一見透の石柱があり、淀川浸水想定区域図の看板が設置されていました。



(意見・感想・処置等)

新年あけましておめでとうございます。1月のレポートありがとうございます。

カワウや鷺、カモ等の群れは、久我井堰でしょうか。河川空間は公共空間であるとともに、生物にとっても貴重な生息・生育・繁殖環境となっています。多様な生物と共存しながら、誰もが自由を楽しめ、憩える場として、健全で秩序ある河川敷の利用を目指しています。

駐車禁止の看板は、河川巡視の際に発見された場所に設置しています。野犬の餌やり禁止の看板は、主に桂川の上流に設置しています。京都市医療衛生センターとの連名看板になります。

久世橋東詰公園は、京都市南部みどり管理事務所が管理している公園になります。傾斜しているフェンスにつきましては、管理者である京都市南部みどり管理事務所へ情報提供させていただきます。

広域避難場所の看板は、京都市行財政局が設置している「桂川河川敷広域避難場所標示板」になります。桂川河川敷には、12ヶ所設置されています。地震に伴う大火災による二次災害の危険から、地域住民の生命の安全を確保出来る場所を、京都市長が指定している場所になります。なので、日本語、英語、韓国語、中国語の4ヶ国語が表記されていると、とても心強いですね。

草刈り後の晴天に恵まれたレポートは、景色が綺麗でした。サイクリングロード等、自転車が沢山通行される場所に於いては、撮影の際は注意して下さい。

盛り沢山のレポートありがとうございました。来月のレポートも楽しみにしています。